

全体結果

調査全体 サンプル **1,330** 名 平均点 **34.7** 点/36点中  
正答率 **96.4** %

各設問結果

大問番号	問題番号	指導要領外	問題と正答	調査全体誤答			調査全体の主な誤答例 ( )は発生件数
				正答率	誤答率	無答率	
1 (AB)	1		15-7=8	97.3%	2.3%	0.4%	3・7(4)、2・6・9・12(2)
	2		11-4=7	96.4%	3.1%	0.5%	6(6)、5・8(4)、3・9(3)
	3		14-6=8	96.9%	2.7%	0.4%	10(5)、7(4)、3・4・6・9(2)
	4		18-9=9	96.5%	3.0%	0.5%	7(7)、1・10(3)、2・4・8(2)
	5		12-7=5	97.0%	2.4%	0.5%	3(4)、6(3)、4・9・10(2)
	6		13-5=8	96.6%	2.8%	0.5%	5(6)、7(5)、6(3)、3・12(2)
	7		16-7=9	96.6%	2.8%	0.5%	8(4)、3・10(3)、4・6・11(2)
	8		11-8=3	96.2%	3.1%	0.7%	4(10)、2(5)、1・5・7(2)
	9		14-9=5	97.2%	2.0%	0.8%	4・6(4)、1・3(3)
	10		17-8=9	97.2%	2.6%	0.3%	10(5)、2・5(4)、11(2)
	11		12-3=9	96.5%	3.2%	0.3%	8(6)、4(5)、7(3)、1・5・10・11(2)
	12		13-7=6	95.6%	3.9%	0.5%	5(7)、3・7(5)、9(3)、1・4・14(2)
	13		15-6=9	97.0%	2.6%	0.4%	10(5)、4(4)、8(3)
	14		11-3=8	96.2%	3.1%	0.7%	9(9)、7(6)、4(3)、2(2)
	15		12-9=3	96.2%	3.2%	0.5%	1(6)、2(5)、8(3)、4・5・7(2)
	16		11-6=5	97.3%	2.2%	0.5%	3(4)、7(4)、4(3)、6(3)
	17		13-9=4	96.2%	3.2%	0.5%	3・5・7(4)、1(3)、2・6・9(2)
	18		12-8=4	96.1%	3.4%	0.5%	2・3(6)、5(5)、6・7・8(2)
1 (CD)	1		15-8=7	95.4%	4.4%	0.2%	8(11)、2(5)、5(3)、3・12・13(2)
	2		12-6=6	95.9%	3.9%	0.2%	8(6)、4・7(5)、5(4)、16(2)
	3		13-4=9	95.4%	4.4%	0.2%	8(9)、7(5)、4・6(4)、10(3)
	4		17-9=8	95.6%	4.2%	0.2%	7(8)、9(5)、1・2・6・10(2)
	5		14-7=7	94.7%	5.1%	0.2%	8(11)、11(4)、2・5・6・9(3)、3(2)
	6		11-5=6	98.3%	1.5%	0.2%	5(4)、7(2)
	7		16-9=7	95.9%	3.6%	0.5%	8(6)、5・6(4)、2(2)
	8		12-4=8	96.4%	3.2%	0.3%	6(11)、7(4)
	9		13-8=5	96.1%	3.6%	0.3%	6(6)、4(3)、2・3・7・10・11(2)
	10		15-9=6	96.3%	3.7%	0.0%	4(6)、5(5)、7・9(3)、2(2)
	11		11-7=4	95.4%	4.6%	0.0%	8(10)、3(5)、2・5・9(3)、1(2)
	12		14-8=6	94.6%	5.1%	0.3%	7(8)、4(6)、8(4)、2・5(3)、3(2)
	13		12-5=7	97.5%	2.4%	0.2%	8(6)、3・5・6(2)
	14		16-8=8	94.2%	5.8%	0.0%	9(8)、3(7)、7(6)、4・5(3)、2・6(2)
	15		13-6=7	95.9%	4.1%	0.0%	6(7)、5(6)、8(4)、4・9(3)
	16		11-2=9	95.9%	3.6%	0.5%	8(9)、3(5)、10(3)、4(2)
	17		14-5=9	98.1%	1.4%	0.5%	5(3)、6・10(2)
	18		11-9=2	96.4%	3.1%	0.5%	7(5)、3(4)、1(3)、5・10(2)
2 (AB)	1		8+7=15	95.7%	3.9%	0.4%	16(7)、13(6)、11(4)、14・17(3)、1・9(2)
	2		2+9=11	97.6%	2.0%	0.4%	12・16(3)、1・13(2)
	3		8+8=16	94.5%	4.9%	0.7%	17(10)、14(6)、11・12・15(3)、10・13・18・19(2)
	4		7+9=16	94.9%	4.6%	0.5%	15・18(7)、6・17(4)、11・14(3)
	5		6+5=11	98.0%	1.5%	0.5%	12(3)、5・10・15(2)
	6		3+9=12	97.8%	1.6%	0.5%	11・14(3)、1(2)
	7		8+6=14	96.1%	3.4%	0.5%	16(5)、15(4)、12(3)、4・7・13・17(2)
	8		5+9=14	96.9%	2.4%	0.7%	16(5)、15・19(3)
	9		7+5=12	97.2%	2.3%	0.5%	13(7)、8・15(3)
	10		6+9=15	96.0%	3.8%	0.3%	14(8)、5・16(5)、1・11・12・17(2)
	11		8+3=11	97.6%	2.0%	0.4%	12(6)、5・10(2)
	12		5+6=11	98.3%	1.5%	0.3%	14(3)、12(2)
	13		9+4=13	97.3%	2.3%	0.4%	12(4)、14(3)、3・15(2)
	14		7+8=15	96.2%	3.4%	0.4%	16(9)、13・14(4)、9(3)、12(2)
	15		6+6=12	97.3%	2.2%	0.5%	16(4)、14(3)、13(2)
	16		9+8=17	96.8%	3.0%	0.3%	18(6)、16(5)、7(4)、12(2)
	17		4+7=11	96.4%	3.2%	0.4%	16(7)、12(5)、3・7・13・17(2)
	18		9+6=15	97.3%	2.4%	0.3%	14(4)、16(3)、11(2)

大問番号	問題番号	指導要領外	問題と正答	調査全体誤答			調査全体の主な誤答例 ( )は発生件数
				正答率	誤答率	無答率	
2 (CD)	1		6+7=13	95.8%	3.9%	0.3%	12・14(5)、3・18(2)
	2		8+4=12	95.9%	3.6%	0.5%	14(4)、11・16・17(3)、10・13(2)
	3		7+7=14	95.9%	3.6%	0.5%	16(5)、15(4)、12・13(3)、4・10(2)
	4		9+3=12	97.8%	1.7%	0.5%	13(6)、6(2)
	5		4+9=13	95.9%	3.6%	0.5%	12・15(4)、5・14(3)、10・11・18(2)
	6		7+6=13	95.6%	3.9%	0.5%	14(8)、11・12・16(3)、15(2)
	7		3+8=11	95.8%	3.7%	0.5%	12(11)、5・10(3)、13・16(2)
	8		9+9=18	96.9%	2.6%	0.5%	19(4)、17(3)、10・11・13(2)
	9		8+5=13	96.4%	3.1%	0.5%	12(11)
	10		6+8=14	94.7%	4.9%	0.3%	15(7)、13・16(5)、12(4)、8(3)、18(2)
	11		9+7=16	95.4%	4.2%	0.3%	17・18(5)、11・13(3)、7・12(2)
	12		4+8=12	95.4%	4.1%	0.5%	11・13(6)、14(4)、10・16(2)
	13		9+2=11	98.0%	1.7%	0.3%	12(4)、17(2)
	14		5+7=12	96.9%	2.7%	0.3%	13(8)、2(3)
	15		8+9=17	94.9%	4.6%	0.5%	16(7)、18(6)、11・12(3)、1・19(2)
	16		7+4=11	95.9%	3.7%	0.3%	12(7)、13(6)、16(5)、3(3)
	17		5+8=13	95.6%	4.1%	0.3%	12(10)、14(4)、11・17(2)
	18		9+5=14	96.8%	2.7%	0.5%	13・15・16(3)、4・11(2)

<指導要領内:たし算>誤答率の高かったもの

順位	問題番号	問題と正答	誤答率(%)
1	2(CD)(10)	6+8=14	4.9%
	2(AB)(3)	8+8=16	4.9%
3	2(AB)(4)	7+9=16	4.6%
	2(CD)(15)	8+9=17	4.6%
5	2(CD)(11)	9+7=16	4.2%
6	2(CD)(12)	4+8=12	4.1%
	2(CD)(17)	5+8=13	4.1%
8	2(AB)(1)	8+7=15	3.9%
9	2(CD)(1)	6+7=13	3.9%
	2(CD)(6)	7+6=13	3.9%

■たし算の誤答傾向

- ① ±1の計算まちがいが多い。  
6+8で13・15、8+8で17、7+9で15・17などの誤答が目立った。
- ② 答えが13以上のものが苦手な傾向が見られる。  
誤答が少ない問題は答えが11、12になるものが集中している。
- ③ 7、8に絡む計算が苦手な傾向が見られる。  
誤答が多い問題の上位10位までにはすべて、7、8、9のいずれかが含まれている。
- ④ 7、8、9の分解が苦手な傾向が見られる。  
6+8(4.9%)に対し8+6(3.4%)、4+8(4.1%)に対し8+4(3.6%)のように、A+BのAが7、8の時よりも、Bが7、8の時のほうが誤答率が高い。

<指導要領内:ひき算>誤答率の高かったもの

順位	問題番号	問題と正答	誤答率(%)
1	1(CD)(14)	16-8=8	5.8%
2	1(CD)(5)	14-7=7	5.1%
	1(CD)(12)	14-8=6	5.1%
4	1(CD)(11)	11-7=4	4.6%
5	1(CD)(1)	15-8=7	4.4%
	1(CD)(3)	13-4=9	4.4%
7	1(CD)(4)	17-9=8	4.2%
8	1(CD)(15)	13-6=7	4.1%
9	1(AB)(12)	13-7=6	3.9%
	1(CD)(2)	12-6=6	3.9%

■ひき算の誤答傾向

- ① ±1の計算まちがいが多い。  
16-8で7・9、14-7で8、14-8で7などの誤答が目立つ。
- ② 分解過程での操作ミスが多い。  
11-7で10-7+1とすべきところを10-7までで3と答えるなど、10-□+△の△のたし忘れなど分解操作の未定着と考えられる誤答も多数見受けられる。
- ③ ひく数が大きいものが苦手な傾向が見られる。  
14-6(2.7%)に対し14-8(5.1%)、11-4(3.1%)に対し11-7(4.6%)など。
- ④ ひく数が7、8のものが苦手な傾向が見られる。  
誤答が多い問題の上位5位までを見ると、とくにひく数が7、8のもので誤答率が高い。

分析と考察

※たし算・ひき算ともにほとんどの問題で95%以上正解しており、学習指導要領内の計算はよくできている。  
 ※他の学年と同様に、たし算よりひき算が苦手な傾向が見られる。  
 ※誤答の多くは、考え方の未定着によるものであり、うろ覚えで答えたため±1の誤答となっている。  
 ※たし算・ひき算ともに7、8の絡むものが苦手と言える。